

シノプシス(SNPS)

増収増益・無配継続。NVIDIA との協業により先端半導体分野でのリーダーシップが継続することが期待される。中国リスクも継続ナスタック | 半導体素子 | 業績フォロー

BLOOMBERG SNPS US | REUTERS SNPS.OQ

直近業績：2月21日発表の24年1Q(11月-1月)業績は売上が前年同期比15%増の1,649百万USD、営業利益が同23%増の1,269百万USDの増収増益で着地。地域別売上では全地域で2桁パーセンテージ増加も、韓国と中国がそれぞれ同27%および26%増で最も高い成長率を示した。セグメント別では売上の60%を占める設計自動化システムが同11%増も営利は同5%増にとどまり営利率低下。売上の32%占めるIPデザインが同53%増、営利は同112%増となり同セグメントの営利率を前年の34%から当期の47%まで改善させた。損益では堅調なるも運転資本増加により営業キャッシュフローは▲87百万USDとマイナスに転じた。

事業概況：設計自動化システム分野では30年以上にわたりNVIDIAとの協力関係を継続している。直近ではシノプシスのAIベースEDAソリューションをNVIDIAのOmniverseプラットフォーム上にて実行した検証例が複数発表されるなど、先端半導体分野での継続的な業界リーダーシップが期待される。こうした実行例のうち、Proteus™と名付けられた光近接補正ソフトウェアはNVIDIA cuLitho(EUVリソグラフィ自動化システム)において実行され、高速化の鍵となる。NVIDIA cuLithoの活用は半導体大手ファウンドリのTSMCで開始されており、NVIDIAのBlackwell GPU製造に適用される予定も発表されている。

投資論点・リスク：同社の売上構成はおおよそ欧米が6割、アジアその他地域が4割前後を占めている。シノプシスの製品・サービスのうち先端半導体向けものは対中輸出規制の対象となっているが、現在でも中国地域売上は全体の15%を占めている。対中輸出規制がパワー半導体や車載半導体IPなどに適用された場合、同社の業績リスクとなる可能性がある。

買収による成長を続けてきた同社の財務諸表におけるのれんは4,131百万USDにもなり、総資産の40%近くに達している。同社の資本効率における財務上の重要な論点として注視する必要があるだろう。

業績推移(GAAP)

四半期業績(10月期)	3Q23	4Q23	1Q24	2Q24(F)
売上高(百万USD)	1,487	1,599	1,649	1,556
当期利益(百万USD)	336	349	449	--
希薄化後EPS(USD)	2.17	2.26	2.89	2.11

通期実績推移(10月期)	FY21	FY22	FY23	FY24(F)
売上高(百万USD)	4,204	5,081	5,842	6,554
売上総利益(百万USD)	3,342	4,017	4,620	5,379
粗利率(%)	79.50	79.07	79.08	82.07
営業利益(百万USD)	734	1,162	1,269	2,419
営業利益率(%)	17.48	22.87	21.72	36.91
当期利益(百万USD)	757	984	1,229	2,098
希薄化後EPS(USD)	4.81	6.29	7.92	9.65

引用：企業公表値、ブルームバーグ(Fは予想値)

*予想値は企業ガイダンス中央値およびブルームバーグ予想値の小さい方を採用

予想配当(USD)	--
株価(USD)	573.35
実績PER(倍)	72.39
予想PER(倍)	42.40
時価総額(10億USD)	87.5
企業価値(10億USD)	86.9
3か月平均売買代金(百万USD)	716.4

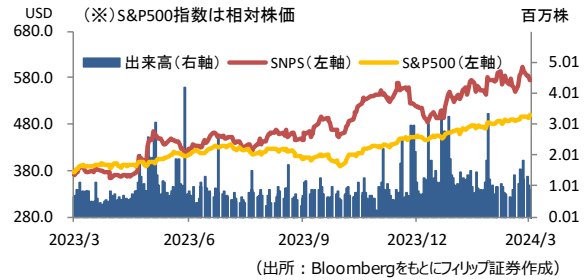
*配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は3/27日終値による

会社概要

1986年設立の米カリフォルニア州にある半導体設計(EDA)ツール大手ベンダー企業。ケイデンス、シーメンス(傘下のメンター・グラフィックス)ら競合3社にて当該分野での寡占市場を形成している。

主要セグメントは半導体設計の自動化ツールを提供する『設計デザイン自動化(EDA)』、半導体設計を提供する『IPデザイン』、システム設計のセキュリティについてのソリューション提供サービスを行う『ソフトウェア・インテグリティ』である。主要市場は米国、ヨーロッパ、中国、韓国、その他地域。

株価推移



単位：百万USD

地域別売上(11月-1月)	1Q 23	1Q 24	YoY(%)
米国	671	807	20%
ヨーロッパ	135	159	18%
中国	197	249	26%
韓国	145	184	27%
その他	210	247	18%

引用：企業公表値

単位：百万USD

セグメント別業績(11月-1月)	1Q 23	1Q 24	YoY(%)
設計自動化システム(売上)	889	985	11%
設計自動化システム(営利)	346	364	5%
セグメント営利率	39%	37%	--
IPデザイン(売上)	343	525	53%
IPデザイン(営利)	117	249	112%
セグメント営利率	34%	47%	--
ソフトウェア・インテグリティ(売上)	127	138	8%
ソフトウェア・インテグリティ(営利)	15	23	54%
セグメント営利率	12%	17%	--

引用：企業公表値

株主構成

株主構成	保有比率(%)
VANGUARD GROUP	8.88%
ブラックロック	7.73%
ステート・ストリート	4.44%
CAPITAL GROUP COMPANIES	4.35%
JPMORGAN・チェース & コンパニー	3.37%

引用：ブルームバーグ

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>
本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 三角 友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。